

ケニアにおける日本式の安全・安心なカテーテル治療の技術・医療機器及び教育手法の普及

- National Strategic Plan for the prevention and control of NCDs(2021)の報告によると、近年NCDsによる死亡率は全体の39%を占め、うち循環器疾患による死亡率は最も多く36%であり大きな課題となっている。
- そこで、同国の心臓カテーテル治療の普及と教育サポートを目的に、日本の安全・安心な心臓カテーテル治療を技術、関連医療機器及び教育手法とともに導入を目指す。日本人医師の知見・経験と弊社が持つトレーニングノウハウの両方を、日本・ケニアでの実地研修やリモートで伝授する。
- 本事業終了後には、現地医師による教育が継続され、日本式の治療方針及び教育手法によって、安全で効率的な医療が自国民に提供されるシステムが構築されることをゴールにおき、医師継続研修制度CPDへのプログラム認証及び、治療ガイドライン改定にも働きかけを行う。

